

補習校だより

2017年11月22日発行



今年は秋の雨がほとんど降っていませんが、日ごとに寒さが増してきました。今月アーザル月でイランの秋も終わりです。そして日本では、もうすでに年末になろうとしています。先月までは課外授業や休校がありました。今月は月の半ばにある連休以外はしっかりと補習校での授業があります。季節の変わり目は体調を崩しやすいですが、体調管理をしっかりと風邪などひかぬようがんばっていきましょう！

今月(アーザル月)の予定

第6回目授業 11月23日(木) 通常授業

第7回目授業 11月30日(木) 通常授業

休校 12月7日(木) 連休

第8回目授業 12月14日(木) 通常授業

第9回目授業 12月21日(木) 短縮授業 クリスマスバザー

新入生の紹介

☆3年生クラス

榊原世怜奈(せれな)さん

趣味: 音楽鑑賞、SNS 特技: ギターの弾き語り
(イランの曲を数曲) 好きな教科: 物理

漢字を覚えるのが少し苦手ですが、授業についていけるようにがんばります。補習校のみなさん、よろしくお願いします。

福嶋ティナさん 趣味: YouTube を観ること 好きな教科: 体育
1年間、他の国で日本人学校に通いました。日本語の読み書きができるように小3から勉強します。よろしくお願いします。



☆5, 6 年生クラス

福嶋みなさん 趣味: ハンドメイド 好きな教科: 算数(数学)

1 年から 5 年まで他の国の日本人学校で勉強しましたが、そこから進歩していないので、これから頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

《行事報告》

日本人学校交流授業

11 月 2 日にテヘラン日本人学校で、日本人学校とテヘラン日本語補習校の交流授業が行われました。

最初の時間は、日本人学校の先生方による授業に両校児童・生徒合同で参加しました。1, 2 年生のクラスは野手先生、中学生のクラスは織田先生による「道徳」の授業、3, 4 年生のクラスは那須先生による「理科」の実験、5, 6 年生のクラスは皿谷先生による「国語」の授業が行われました。

1, 2 年生の「道徳」では、イソップ童話『金の斧、銀の斧』を題材に正直とは何かを子どもたちに考えさせ話し合う授業、中学校の「道徳」では『おばあちゃん』という、アルツハイマーになった祖母を介護する母と、その娘の会話文から、それぞれの心理を考えさせ、介護の苦労や家族の繋がりの大切さなどのついて話し合う授業でした。



3, 4 年生の「理科」は、『おもちゃショーをひこう』というテーマで、日本人学校生が作っていた風力や磁石、電力などさまざまな動力のおもちゃを使って、遊びながら仕組みを考え実践する内容でした。

5, 6 年生の「国語」では、『ことばさがし』のクイズとその発表や、手作りの『部首かるた』を使ってグループごとにゲームをして遊びながら日本語や漢字に親しむ内容でした。



どの先生の授業も両校の児童・生徒が一緒に学ぶための工夫がされていました。補習校生がふだん経験できない日本の教育にも触れることができました。

次の時間は講堂に両校全員が集まり、今度は補習校で用意したレクリエーション活動を行いました。まずは、鈴木理恵さんの指導でイランの童謡『幸せの歌』を全員で合唱しました。その後、日本人学校生のイラン生活での疑問を補習校生が答えるという「質問コーナー」の時間を設けました。

頑張ってはいるものの少し恥ずかしそうに歌う補習校生もいる中、日本人学校生の元気いっぱいな歌声に盛り上げられ、その後の質問コーナーでは日本人学校生から次々とするイラン生活での疑問に、補習校生もしっかりと答えることができ大変盛り上がりました。これを機にお互いの国について考えたり、好きになるきっかけになれば幸いです。



授業の後は、全員で輪になって家から持ってきたお弁当を広げて食事をし、記念撮影をして和気あいあいとした雰囲気の中、交流授業を終えることができました。

温かく迎えて下さった日本人学校の皆様に補習校一同、深く感謝いたします。

☆感想文紹介☆

3年生の宿題だった交流授業での感想文の一部を紹介します。

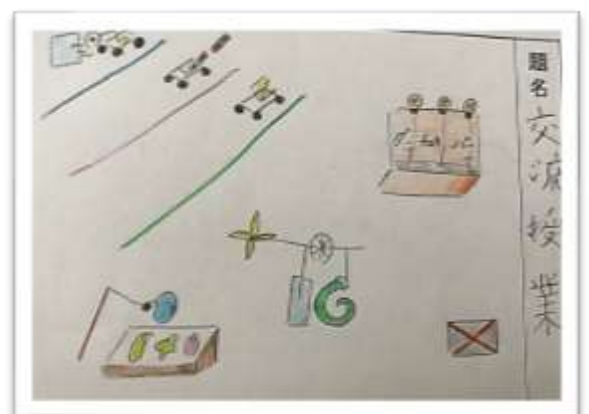
『交りゆうじゅぎょう』 3年 長谷川アナヒタ

わたしは交りゆうじゅぎょうで3年生のクラスに入りました。3年生は、理科のじゅぎょうでした。じゅぎょうは、あそびみたいでした。手作りのおもちゃがいっぱいありました。おべんとうを食べるときには、わたしは、えりかちゃんとひろかちゃんて食べました。みんなで食べたおべんとうは、すごくおいしかったです。いろいろなことをして交りゆうじゅぎょうは、楽しかったです。



『交流授業』 3年 榎原せれな

十一月二日、日本人学校に行きました。わたしたちは、理科でした。日本人学校からは四人でした。ゴム、風、電池、じしゃくの力をつかって動くおもちゃをたくさん作ってくれていて、おもちゃのせつめいをしてくれました。そして、みんなでおもちゃであそびました。とても楽しかったです。音楽は、幸せの歌を歌いました。その後、おべんとうを食べて、さい後に写真をとりました。



トーメンイラン社、社会見学



10月12日(木)、テヘラン日本語補習授業校でトーメンイラン社へ社会見学に行きました。当日は、補習校前から補習校生と引率者がバスに乗り、トーメンイラン社へ訪問し、歓迎のごあいさつを受けたのち、各自自分の名刺をいただき名刺交換の職業体験、その後イルトヤ自動車修

理工場で工場見学をしました。最後にゲストハウスに行き駐在員さんと昼食をいただきました。

今回補習校では、トーメンイランさんの多大なるご協力のおかげで、日本語補習校ならではの社会見学を行うことができました。

補習校生は、今までイランの学校等で遠足や見学は体験しています。しかしそれとは全く違う、イランで活躍する日系企業の社員の方々から、直接お話を伺い、仕事をしていく上での努力・工夫・悩み・2カ国間の協力・日本人の熱い思いなどを、実際に目にし、耳にし、身近に感じることができ、とても貴重な体験を得ることができました。

トーメンイランさんといえば、親の我々でもやはり一番最初に頭に浮かぶのが車ですが、他にもかなり幅広く日本とイランを繋ぐお仕事をしていることを知り、子どもたちも大変驚いていました。

今回トーメンイランの事務所の他に、自動車修理工場を見学させていただきましたが、日本の方とイランの方が協力をし、日本の車を自信を持って紹介し、大切に扱い修理している姿は、子どもたちにとってとても新鮮に映ったことと思います。

車は日常生活にはなくてはならない身近なもので、完成した車を見ることはいくらでもできます。しかし、一台の車に何千、何万もの部品が使われ、どんな小さな部品でもとても意味があり、この部品の一つ一つに人の手がかかって車が動くようになるのを実感できるのは、実際にその現場を見た人だけです。たくさんの人々の努力や工夫によって自動車を作り出されているという、大切なことに子どもたちが気づかされた実りの多い一日でした。

この社会見学は、トーメンイランの皆様方が、貴重な時間を割いて下さり行うことができたということを、心にとどめておきたいと思います。

(教員代表 長谷川可奈子)

☆感想文紹介☆

社会見学の感想文の一部を紹介します。

『たのしかっためいしこうかん』

2年 青山あいさ

わたしは、しゃかいかけん学でめいしこうかんのしかたをおしえてもらいました。ともだちとれんしゅうしました。そのあと、かいしゃの人とこうかんしました。

とてもドキドキしました。はずかしかったけどがまんして大きなこえで名まえを言ったら、すぐにおぼえてもらえました。



『トーマンイラン会社見学』

3年 原えりか

十月十二日、トーマン会社を見学しました。

自分の名しをもらい、社長さんと、六人のはたらいている人と、名しを交かんしました。大きくなったら、はたらいてみたいです。

イルトヤしゅうり工場へも行きました。そこは、小さい・大きいぶひんがたくさんあり、番ごうがついて、まるでめいろのようでした。とても楽しかったです。



『社会見学』

3年 鈴木快実

今日は、社会見学にさんかさせていただきありがとうございました。

イルトヤ工場に行ってトヨタのレクサス、シーエイチアールの車を見たら車をもっとすきになりました。あと一番すごかったのが、すべてのぶひんに番ごうがついていたことです。ぼくは、お金をためてレクサスの車を買おうとおもいました。



『しゃかいけんがく』

2 年 小林スルシュ

トーマンイランについたとき、ぼくはドキドキしていました。エレベーターで上にいくところでは、ひなたさんがまっついてくれました。ひなたさんは、やさしいかんじだったのでほっとしました。そのあと、しゃちょうさんからめいしこんかんをおそわりました。いままでめいしこうかんはしたことがなかったので、おとなになったような気がしました。ほかのひとからもめいしをもらってうれしかったです。

ゲストハウスにいったときは、あまりに大きくてきれいだったので、ちょっとしりごみしてしまいました。でもそこでトーマンさんとはなせてたのしかった。カツカレーはおいしかったです。ぼくはまたトーマンイランにいきたいです。

『社会見学』

4 年 かとうルミナ

十月十二日、社会見学をしました。

トーマンさんの中で、名し交かんを体験しました。名し交かんは、はずかしかったし、きんちょうしました。でも、何人かと名し交かんをするたび、楽しくなりました。

次は、車しゅう理工場のイルトヤさんに行きました。ここでは、たくさんの部品がおいてある、そこを見てビックリしました。

さい新のプリウスにりましたが、わたしは日本に帰った時、今でも親が乗る二〇〇七年式のプリウスのデザインの方が好きです。

たくさんのおみやげをもらえてうれしかったです。

今回、この社会見学にさんかしてよかったです。本当に、ありがとうございました。



『日本語補習授業校社会見学』

5 年 鈴木愛良瑠

十月十二日、私達補習校は、社会見学でトーマンイランとイルトヤに行きました。

トーマンイランでは、ちゅうざい員の方に名しを使つての自己紹介のし方を習いました。私は、自己紹介にこんなやり方があるなんて知りませんでした。ビジネスの中では自己紹介がとても大切な事が分かりました。

イルトヤでは、色々なトヨタの新車や車の細かい部品を見ました。トヨタの新車は、C-HR のハイブリットでした。すごくカッコ良かったです。

働いている方の説明で、ハイブリットは車が止まった時、自動にチャージすることをはじめて知りました。これでガソリンをあまり使わなくなり、町の空気もきたなくなりません。日本人の考え方は、すごくすばらしいです。テヘランは毎年大気おせんで、学校もお休みになってしまいます。このような車がたくさん増えれば、テヘランの生活が変わると思います。私も、大きくなったらハイブリットの車を買いたいです。

『社会見学』

6 年 鈴木まり

社会見学の日、トーメンのオフィスに着き、まずわたしたちはある部屋に通されました。そこで日向さんがおっしゃった言葉がとても印象に残りました。

「ハーフの方々はとても素晴らしい才能を持っている。」

と言われ、わたしもそう思いました。わたしは日本人の方に、生まれて初めてそう言われました。イラン人の方にもよくそう言われていましたが、日本語で言われたらとても心にひびきました。

わたしはあまり車に詳しくありませんでしたが、トヨタの車に詳しくなれてとてもうれしいです。イルトヤのみな様が、車のいろいろなことを教えて下さったので、おもしろかったです。印象に残ったことは、トヨタのマークの中に TOYOTA の字がかくされていると聞きマークにも意味があるんだなと思いました。

ゲストハウスに着くと、カツカレーが用意されていました。わたしたちはカツカレーを食べながら、社長や副社長といろいろな話ができ楽しい時間をすごせました。

今回、社会見学という体験ができてとてもうれしかったです。みなさまありがとうございました。



『社会見学感想文』

中学部 鈴木沙奈

私が初めに社会見学で良かったと思ったことは、初めて自分の名刺を本格的な渡し方そして受け取り方で、交換できたことです。名刺は、小さい人が先に、胸の高さでそして両手でわたすということが分かりました。

イルトヤでは、豊田の色は赤と銀だということが分かりました。部品倉庫では、本物の部品は、赤箱に入れていることなど、上の方には、思い物は落ちたら危ないので置いていないことや、全ての部品は数字で分かるようになっていて、一台のオートバイに使われる部品の数は約五百個、そして一台の車には三万個の部品を使っていることが分かりました。

イルトヤで見た車の中で一番良いと思ったのは、レクサスの車です。なぜなら、トランクが 2 段になっていてまたその下にタイヤを置く場所があつて、雨がふっていてもトランクのドアが頭の上まで開くので自分の荷物もぬれないようになっているので便利だなと思いました。

そして車のナンバーの所にカメラがあるので後に小さい子供がいたら、中から見えるようになっているのが良いと思いました。

私は今まであまり車に興味がありませんでしたが、社会見学を通して車について知らないことをたくさん学べました。そして前より車が好きになりました。私もトーメンさんのようなすばらしい会社で働けたら良いと思います。

『社会見学で学んだこと』

中学部 長谷川沙弥

今回の社会見学に行き、いろいろなことを学びました。

始め、見せていただいた映像から、どれだけ細かい部品で車が組み立てられているのかがわかり、おどろきました。もう一つ知ったことは、ハイブリットカーが、ブレーキをかけることで、車が電気を作り出す仕組みです。日本はすごく先に進んでいると感じました。

また、あんなにたくさんの部品が置かれている倉庫を見て、ぼくの心に残ったことは、どんなに小さい部品でもくるまにとってはすごく大切であるということです。もう一つ、にせ物の部品は車をすぐだめにし、本物の部品を使うことがとても大切だということです。ぼくは、今までこんなに本物の部品が大切だと思いませんでした。

ゲストハウスで、トーメンの社員さんと話したことで最も興味がわいたのは地下にワイファイ通路がつながっていて、イランの地下のワイファイの九十パーセントをトーメンさんが管理しているということです。これを知ってトーメンさんがイランの国ですごく大切な役割をしていると感じました。

おいしいカツカレーをありがとうございました。



※補習校だよりに掲載している学年は、補習校内での学年です。

編集後記

今年度前半の補習校は通常と違い、社会見学や交流授業といった校外授業が多くありました。おかげ様で教室や家庭学習だけでは学べない多くの事を、子どもたちが学べました。編集をしながら子どもたちの作文を読んだ時も、新しい体験をして感動した様子がよく伝わってきました。これらの貴重な体験は、きっと子どもたちの心にずっと残るものになるでしょう。貴重な体験の場をくださった皆様に感謝いたします。

(鈴木淳子)